

## 配線色

RS12T-422-PU-	
電源+12V	白
電源0V	空
極性切替POL	黒
入力1 (SI1)	茶
入力2 (SI2)	赤
入力3 (SI3)	橙
入力4 (SI4)	黄
入力5 (SI5)	緑
入力6 (SI6)	青

入力7 (SI7)	紫
入力8 (SI8)	灰
入力9 (SI9)	茶* ■■
入力10 (SI10)	赤* ■■
入力11 (SI11)	橙* ■■
入力12 (SI12)	黄* ■■

RS12E-422N/P-PU-	
電源+24V	白
電源0V	空
インゾーンIz	黒
入力1 (SO1)	茶
入力2 (SO2)	赤
入力3 (SO3)	橙
入力4 (SO4)	黄
入力5 (SO5)	緑
入力6 (SO6)	青

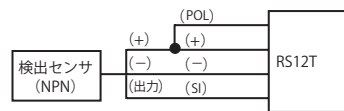
入力7 (SO7)	紫
入力8 (SO8)	灰
入力9 (SO9)	茶* ■■
入力10 (SO10)	赤* ■■
入力11 (SO11)	橙* ■■
入力12 (SO12)	黄* ■■

極性切り替えPOLは、伝送部に接続するセンサの極性(NPN/PNP)を切り替えるための配線です。配線図をご確認のうえ、接続するセンサに合わせ配線をしてください。配線していない場合は信号は検出されません。

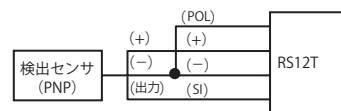
工場出荷時、ケーブルの未使用芯線をカットしてあります。配線上の都合でケーブルを短くした場合、未使用芯線が露出しますので、ショートなどないように処理をお願いします。尚、未使用線は緑\*、青\*、紫\*です。(\*…は各色の芯線に■■がプリントされている線のこと)

## 配線図

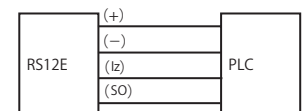
3線式NPN型検出センサ接続の場合



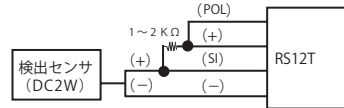
3線式PNP型検出センサ接続の場合



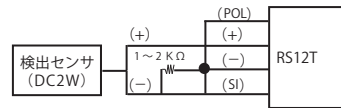
外部PLCへの接続



2線式検出センサ接続の場合 (NPN設定時)



2線式検出センサ接続の場合 (PNP設定時)



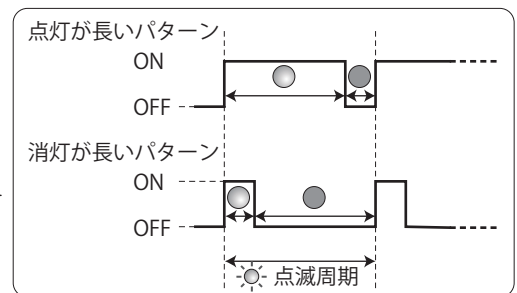
電源および信号線を配線する際は、配線図をよくご確認ください。正しく配線してください。

直流2線式センサを接続する場合は、抵抗は1~2KΩ程度を配線してください。

## LEDの表示内容について

### ステータスLED (緑)

点灯状態	点滅周期	パターン	内容
点灯 ●	—	—	電源が正しく供給されている。
消灯 ○	—	—	電源が正しく供給されていない。
点滅 ●	遅い (1.5秒)	消灯が長い	温度異常時。
点滅 ●		点灯が長い	発振回路で過電流。
点滅 ●	中速 (0.6秒)	消灯が長い	使用電圧が高い。
点滅 ●		点灯が長い	使用電圧が低い。
点滅 ●	高速 (0.2秒)	同じ間隔で点滅	短絡保護が動作しています。



### インゾーンLED (橙)

インゾーンLEDはマスタープレートとツールプレートが対向状態であり、通信可能である場合点灯します。また、各センサからの信号が出力されると、それに応じて点滅します。

出力	1フレーム	信号	2フレーム	3フレーム
ON	点滅 ●	1	点滅 ●	点滅 ● 0.3秒
	0.6秒	2		0.6秒
OFF	点滅 ●	3	0.3秒	点灯 ● 0.3秒
	0.3秒	4		0.6秒
ON	点滅 ●	5	点滅 ●	点滅 ● 0.3秒
		6		0.6秒
OFF	点滅 ●	7	0.8秒	点灯 ● 0.3秒
		8		0.6秒
ON	点滅 ●	9	点灯 ●	点滅 ● 0.3秒
		10		0.6秒
OFF	点滅 ●	11	0.3秒	点灯 ● 0.3秒
		12		0.6秒

